



No. 21 / 55

有脇小学校校長だより

2021・3・16

修学旅行に行ってきました

今年度の修学旅行はコロナ禍の影響で、10月から延期されていましたが、3月11日・12日に行ってきました。修学旅行の実施を決定する時に、愛知県・京都府に「緊急事態宣言」が出されていた関係で、行き先は愛知県内となりました。その後、ホテルを貸し切ることができたため、一泊で出かけました。

行程は

- ◇ 1日目 ◇ 学校 ～ 国宝「犬山城」 ～ 博物館「明治村」 ～ 三ヶ根山「ヒルズホテル」
- ◇ 2日目 ◇ ホテル ～ 三河湾国定公園内「竹島」 ～ 蒲郡市「竹島水族館」 ～ ラグナシア ～ 学校

です。6年生の子どもたちにとっては待ちに待った修学旅行でした。しおりには「学ぶ！楽しむ！絆が深まる！修学旅行にしよう」というスローガンが掲げられていました。そのとおり、子どもたちはどこへ行っても、ガイドさんの言葉に耳を傾け、メモをとり、解説を読む。まさしく“学ぶ”姿を見せてくれました。また、“楽しむときは楽しむ”という切り替えの早さと行動力は、とてもすばらしかったです。そして“絆が深まる”です。班活動は研修班（活動の基本）と生活班（ホテルの部屋単位）の2種類がありますが、6年生はすでに強い絆で結ばれている様子でした。だれ一人として勝手な行動はしません。まわりを気遣って行動することができます。またバスの中などは班というよりは、もはや学級全員で楽しむという雰囲気がありました。さまざまな場面で、子どもたちの絆の強さを感じることができた二日間でした。



が、6年生はすでに強い絆で結ばれている様子でした。だれ一人として勝手な行動はしません。まわりを気遣って行動することができます。またバスの中などは班というよりは、もはや学級全員で楽しむという雰囲気がありました。さまざまな場面で、子どもたちの絆の強さを感じることができた二日間でした。



**明治村です14時46分
東日本大震災で犠牲になった方々に
黙祷を捧げました**

子どもたちが修学旅行に出かけたのは3月11日です。10年前のこの日、東日本大震災が発生し、たくさんの方が犠牲になりました。明治村を出発するための集合時刻が14時45分でしたが、子どもたちは14時30分には集合していました。そして、担任の合図で黙祷を捧げました。黙祷を終えたあと、担任から話がありました。「決して忘れてはならない出来事」「わたしたちの住んでいる地域にも必ず起こる出来事」です。人間は、繰り返し起こる災害や事故に負けない強さ、悲しみから立ち上がる強さをもっていることも、子どもたちは感じ取ることができたと思います。



食事は全員で食べました

今回の修学旅行は、行く先々でコロナ対策がなされていました。ホテルでの夕食・朝食も、一人ずつの膳で、同じ方向を向いて座り、会話もできるだけしないというものでした。お風呂は同宿の岩滑小学校と使用時間を分け、入れ替え時に消毒をするという徹底ぶりでした。異例づくめの修学旅行でしたが、子どもたちの心には、通常の修学旅行以上にとても大切な思い出がたくさんできたと思います。

この旅行を実施するに当たって、ご家庭、半田市教育委員会（キャンセル料や実施に関して）、旅行業者、宿泊先、研修先等、たくさんの方々にお骨折りいただきました。「子どもたちにすてきな思い出を」という温かい思いは、確実に伝わりました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。6年生はこの1週間後の3月19日に学校で最重要行事の“卒業式”を迎えます。6年間の集大成の完成です。

バスレク楽しかったお



“お疲れ様でした” “よろしくお願ひします”

令和3年度の第1回PTA全員委員会が3月9日にひらかれました。正式には4月23日に行われる「PTA総会」で承認となりますが、年度初めから活動があります。今回は各部会の部長・副部长等の選出を行いました。また、総会での役割確認を行いました。コロナ禍でさまざまな活動が縮小されたり中止されたりしていますが、できるように工夫し、活動を進めていきたいと思っています。

